

様式例第3号

朝来市地域公共交通網形成計画(素案)に関するパブリックコメントの結果		
意見等の募集期間	令和2年2月12日(水)～令和2年3月6日(金)	
意見等の受付件数	16人(38件)	
提出方法の内訳	郵便 人 ファクシミリ 人 電子メール 2人 持参 14人	
<p>実施機関(担当課等)コメント</p> <p>朝来市地域公共交通網形成計画は、「1章 はじめに」「2章 地域公共交通の現状と課題」「3章 地域公共交通の目指すべき姿」「4章 本市の目指す将来ネットワーク」「5章 目指すべき姿を実現するための施策」「6章 計画の評価・検証・見直し」から成り立っており、パブリックコメントの実施は計画の基本方針や将来ネットワークの考え方、具体的な施策メニューを記した3章以降です。今回のパブリックコメントで市民の皆様からいただきました意見の多くは、市として取り組む必要がある事項を具体的に示していただいたものであり、市の考え方や方向性と概ね合致していると考えます。今後、計画を実行・実現するにあたり、地域住民・交通事業者・行政が役割分担していくことで、持続可能な地域公共交通体系の構築を目指していきます。</p>		
<p>提出された意見等の概要 (類似する意見については、取りまとめて掲載しています。)</p>		
番号	意見等	市の考え方 (修正がある場合は、その内容)
1	<p>(1) 地域の公共交通を今後も守り育てるため、地域住民・交通事業者・行政が共に考え行動するための指針を定めるための計画だと伺いました。P.28の一番下に挙げられている「使ってみると意外と便利」「まずは使ってみてもらうことが必要」とありました。近隣の市町でもされたように聞きますが、まずは朝来市職員の方々がご利用になられ、乗り継ぎ問題や便数問題に向き合って頂ければと思います。週一日でも良いです。社会実験としてでも良いですし、奨励事業としてでも良いので、職員の方々も一緒になってお取り組みいただければと思います。</p>	<p>朝来市役所では、地域公共交通に対する意識を高めるための取組の一つとして、担当部署だけでなく職員全員に対して、通勤時に地域公共交通を利用する「エコ通勤」を推進しております。職員個人の状況(家からバス停・駅までの距離、ダイヤ等)に応じて、当日の勤務はフレックスタイム制を導入するなど、地域公共交通を利用しやすい環境を整えています。</p> <p>ご意見いただいたとおり、職員も一緒になって地域公共交通を考え行動するためにも、この取組を継続していきたいと考えています。</p>
	<p>(2) P.47の葛城市の事業は素晴らしいと思います。特に、今まで自家用車利用をされていた方で、免許証を返納された方なども含め、バス等に乗りに慣れない方には「マイ時刻表」を作成支援することは、不安を和らげると共に、「乗ってみよう!」という意欲につながると思います。たくさんの時間と職員さんが必要となる事業になるかもしれませんが、このような丁寧な支援はきつと必要だと思います。</p>	<p>地域公共交通の利用の仕方は、利用される方によって交通手段は異なり、系統や乗車位置、目的地も違います。そこで利用者独自の「マイ時刻表」の作成は、地域公共交通の利用促進につながるかと考えております。</p> <p>毎年発行している地域公共交通の情報を掲載している「あさごナビ」を活用し、市民に広く「マイ時刻表」の作成を推進していきます。</p>

<p>2</p>	<p>(1) 朝来市地域交通網形成計画（素案）を拝読させていただいた感想は、調査を含む確かな現状把握、問題点の洗い出し、運行計画、評価検証とよくまとまっている内容だと思いました。交通手段というのは、“行きたい場所へ”、“行きたい時間（出発、到着、所要）で行ける”ものが究極の手段であるので、朝来市民の多くが自家用車を選ぶことは自然のことです。かたや都市部では公共交通がその一躍を担っており、ほとんどの場合、コスト的にも自家用車よりも効率的です。その上で、朝来市において公共交通を使用する市民は高齢者や学生と年齢的に片寄りがあり、これはやむを得ないことであります。その中で特に高齢者の交通利用について思うことがありますのでコメントさせていただきます。</p> <p>急激な人口減少の中で、高齢者は若者ほどの人口減少はありませんが、緩やかに減少しています。そこで特に後期高齢者以上の市民の方々が上述した目的を行うために公共交通は欠かせないものであります。朝来市では公共交通の維持のために年間約1億円を負担している現状のなかで金銭の使い方を少し変えてみることは出来ないでしょうか？</p> <p>具体的には上述した目的を行うためにアコバスのデマンド方式をもう少し進めた既存のタクシーを利用する方法を提案します。事業タクシーは高額ですので、なかなか個人では利用するのは困難です。そこで、アコバスの走行回数を減らし、その分の浮いた予算をタクシー利用の補助をしてみるのです。メリットとして“行きたい場所へ”“行きたい時間に”行くことが出来ます。あわせて市民の足であるタクシー事業を守ることも出来ます。</p> <p>一定期間の社会実験でも良いのでご検討いただけたらと思います。</p> <p>現在、自家用車を利用している私達も将来はお世話になるであろう朝来市の公共交通が1日でも長く維持出来るように願っております。</p>	<p>市や地域公共交通の現状等に鑑み、新たな移動手段の導入を検討することは、非常に重要な視点だと考えております。計画「5章 目指すべき姿を実現するための施策」の中、「C-2 多様交通サービスの導入に向けた検討」として、施策メニューを掲げております。</p> <p>既存の交通体系では利用者数が少ない地域においては、地域住民のニーズや地域の交通事情を考慮し、あらたな移動手段を導入することを検討していく必要があると考えます。地域の実情は様々であり、新たな移動手段も多様であることから、その地域に適切な手段を導入することが大切だと考えます。</p> <p>しかし、地域公共交通は当該地域だけではなく、市全体もしくは広域の視点も必要であることから、地域公共交通体系全体として考えていきます。</p> <p>また、ご意見のとおり、新たな手段の導入は1つの交通手段の維持・継続につながる反面、別の交通手段に大きな影響を与える可能性もあることから、関係者の調整を慎重に図りながら進めていきたいと考えます。</p>
	<p>(2) 最後に1点だけ、P34に記載の朝来町はありませんので、旧朝来町か朝来地区の記載の方がよいと思います。</p>	<p>ご意見いただきました通り、「朝来町」の標記を「旧朝来町」に修正します。</p>

3	<p>(1) 和田山町が「病院が出来る」「中央には商店が幼稚園も出来る」と募集した秋葉台も、今でも何一つ計画されたものは出来ず、空家と老人の多い車がないと住む事も不便な街となってしまいました。老いた人、一人身になった人達は、都会の子のもとへと一軒一軒去って行かれ淋しくなって行きませぬ。</p> <p>せめて交通の便がよく、病院、買い物、町の行事等に出かけられればと思っても、その便もなく生きていくのが大変な日々を送っています。</p> <p>生の安全、保障、生の楽しさがせめて保証されるバスの回数を増やす事を希望します。秋葉台に車の便を・・・。</p>	<p>バスの増便や利用しやすいダイヤについては、「3章 地域公共交通の目指すべき姿」を実現するための、4つの基本方針をもとに考えていきます。</p> <p>地域の実情や公共交通の現状、また地域のニーズを把握したうえで、当該地域だけではなく広域的な視点のもと、多様な交通手段の連携と役割分担によって、目的地に行き帰りしやすい公共交通体系となるように、見直していくことを考えています。</p>
4	<p>(1) 土日、祝日のバス運行して下さい。</p> <p>土日、祝日の勤めもあり、又、グループでの移動では自家用車が数台必要となる。駐車場の問題もある。</p>	<p>交通事業者においては、利用者の減少に加え運転手不足が大きな課題となっており、土日・祝日のバス運行の充実は、非常に難しいと考えております。バス路線の維持・継続や利便性向上に向けて、地域住民や交通事業者と共に、地域公共交通の利用促進や担い手の確保に取り組んでいきたいと考えます。</p>
	<p>(2) バス停の設置かバスの小型化の実現を。</p> <p>たじまんま、三浦クリニック、高岡クリニックの利用者が多く、現在のバス停ではとても不便である。</p> <p>和田山営業所から朝来医療センター間は長過ぎます（距離）。</p>	<p>ご意見をいただいたJAたじまんま付近は、近年開発が進み、店舗や医療機関の整備が進んでおります。新たなバス停の設置や運行ルートの変更など、バスの小型化以外の手法も検討しながら、利用者の利便性向上に向けて検討していきたいと考えます。</p> <p>なお、JAたじまんまについては、令和2年4月にアコバスのバス停を設置いたします。</p>
	<p>(3) 和田山駅にエレベーターの設置希望します。</p>	<p>和田山駅は主要な乗り換え拠点であることから、利便性の向上のためにエレベーターの設置が実現できるように、JR西日本と協議していきたいと考えます。</p>
5	<p>(1) アコバスを秋葉台停留所にもお願いしたいです。</p>	<p>上記3(1)と同じ考え方です。</p>
	<p>(2) 路線バスの停留所をたじまんま付近に設置してほしいです。</p>	<p>上記4(2)と同じ考え方です。</p>
6	<p>(1) アコバスを秋葉台にまわして下さい。</p>	<p>上記3(1)と同じ考え方です。</p>

	(2) J Aの近くに停留所をつくってください。	上記4 (2) と同じ考え方です。
7	(1) 路線バスの停留所を「たじまんま」の近くに考えていただき、通院（高岡耳鼻科クリニック）、買い物が出来る様、望みます。	上記4 (2) と同じ考え方です。
	(2) アコバスの秋葉台までの運行をお願いします。	上記3 (1) と同じ考え方です。
8	(1) 秋葉台で生活している87才の独居老人です。生活していくうえで一番心配なのが、病院行きと食事等の買い物ですが、車の運転も無理になって来ました。 アコバスの秋葉台乗り入れをよろしくお願いします。	上記3 (1) と同じ考え方です。
9	(1) J Aの近くに停留所がほしい。	上記4 (2) と同じ考え方です。
	(2) アコバスを秋葉台に来る様にしてください。	上記3 (1) と同じ考え方です。
10	(1) 便利な公共交通を望みます。 J A和田山に停留所を作ってください。 (竹ノ内与布土線に) 秋葉台からJ A和田山へ買物に行こうとすれば、7時8分秋葉台出発したら5時間、9時35分のバスで出発したら7時間余り(バスを乗り継いで)かかります。ここは高岡耳鼻科、三浦クリニック等もあり、どうしても設置してほしい。	上記3 (1) と同じ考え方です。
	(2) 地域の公共交通は、どこに住んでいても等しく公共交通の恩恵を受ける権利があると思います。これを保障するのは、国と自治体だと思います。国の補助金が減ったことも聞きます。人口減と高齢化の進んだ地方こそ、増やしてもらうべきです。国へ強く要請してください。 幹線軸・フィーダー軸・ラストマイル軸も新たな負担とならぬ様に、秋葉台のグリスロも「あこか」に込めて、新たな料金は徴収しないでください。	近年、国や県からの財政支援の縮小や人件費の増加等により、バス路線等の確保に苦慮していることは、但馬地域共通の課題であります。よって、但馬地域として、地域公共交通維持のために、国および県に財政支援等の要望を行っております。 新たな移動手段導入に伴う、利用料金の設定については、地域公共交通全体や地域の実情を勘案しながら、関係者を含めて協議し決定させていただきたいと考えます。

	<p>(3) 公共交通の利用促進について、車に乗れる人でも通勤や買物などでバスを利用してもらおう。私も今は車に乗っていますが、買い物だけの日等は、バスを使おうと思いました。公共交通を利用しない8割の層にも、脱酸素社会をめざす立場からも、利用促進をすすめてほしい。その為にも便数を増やすこと。</p>	<p>ご意見いただいたとおり、地域公共交通の利用促進については、車が運転できなくなる前から地域公共交通を体験いただき、慣れていただくことも目的の一つであります。</p> <p>バス等の増便については、上記3(1)と同じ考え方です。</p>
	<p>(4) JRとバスの時間の接続が悪い。 和田山駅にエレベーターをつけてください。</p>	<p>毎年行われるJRのダイヤ改正にもとづき、バス事業者は路線バス等のダイヤも改正しております。引き続き地域公共交通全体を見直し、利便性向上に取り組みたいと考えます。</p> <p>和田山駅のエレベーター設置については、上記4(3)と同じ考えです。</p>
11	<p>(1) アコバスを秋葉台4区まで来るようにしてほしい。</p>	<p>上記3(1)と同じ考え方です。</p>
	<p>(2) 買物は、イオン、さとうばかりでAコープも行ける様にしてほしい。</p>	<p>上記4(2)と同じ考え方です。</p>
12	<p>日本国憲法第13条、第14条、第22条、第25条に基づき、国の行政を補填する役割を求め、コメント致します。</p> <p>(1) 中心部や利用の多い地域と、過疎地との格差を是正すること。住民生活の便不便を、行政が作るようなことは、あってはならない。「拠点間における利便性の向上」は、そこまで来る利便性があるからこそのものであり、主客転倒している。「利用割合による利用状況の評価」だけでなく、住民の実情に合わせる調査もし、住民を切り捨てず住民要望に応える市政を。</p>	<p>計画策定に当たっては、地域ヒアリングを実施し、バス利用者の意見を聴取し、計画に反映しています。この計画をもとに、地域の実情や利用実態を踏まえ、それぞれの地域に見合った地域公共交通になるように見直すことを考えます。</p>
	<p>(2) バスの増便や利用の少ない路線の運行が困難であれば、タクシーチケットやタクシー半額補助等の対策を急ぐ。今困っている人に応えることで、公共交通の未来が作られる。</p>	<p>市の財政状況も厳しさを増しており、その状況下において持続可能な地域公共交通の維持・確保を検討しなければなりません。</p> <p>また、新たな交通手段の導入に当たっては、既存の形態の見直しや関係者との調整が必須となってきます。</p> <p>以上のような課題はありますが、限られた財源のより有効な使い方について、引き続き検討していきたいと考えます。</p>

	<p>(3) 排ガス対策を鑑み、市の職員が率先して公共交通での通勤や移動を促す。例えば週一回のノーカーディを設け、公共交通の実情を知り、市民に寄り添う対応の実現を図る。</p>	<p>上記1 (1) と同じ考え方です。</p>
	<p>(4) 市民から寄せられる要望には真摯に耳を傾け、実現の可否を検討し、結果を伝える。2019年にアルバにバス停が出来ており、JAたじまんまのバス停設置の要望に、早期に応える。</p>	<p>上記4 (2) と同じ考え方です。</p>
	<p>(5) 昨年5月の大型連休では、10日間買い物に行けない状況が生まれた。実情に合わせた運行が求められている。ごみの収集のように臨機応変の対応が出来るよう検討を急ぐ。それについての記述が見当たらない。</p>	<p>上記4 (1) と同じ考え方です。</p>
	<p>(6) JRの利用を促しながら、バスとの時間連携が多くの場合出来ていない。まずその見直しを行い、利用を促すべき。</p>	<p>上記10 (4) と同じ考え方です。</p>
	<p>(7) 通学バスを路線バスにするなど、大胆な発想での利用方法もある。</p>	<p>通学バスを一般利用する手法については、他の自治体で導入実績もあります。その際に課題となるのは、学生・生徒および保護者の理解を得ることであるため、慎重に検討する必要があります。他の交通手段の導入も視野に入れながら、地域ニーズと実情に合った地域公共交通体系にしていきたいと考えています。</p>
	<p>(8) 行政が計画を立てる際、予算から考えるのではなく、市民の生活向上として捉え、実現して欲しい。</p>	<p>限られた市の財政状況の中、いかにして計画を実現するのが大切であります。計画実現に向けて、市の現状および地域の実情に照らし合わせ、様々な可能性を探っていきます。</p>
13	<p>(1) 孫が但馬農業高校に通っています。 通学経路は 秋葉台→養父駅→八鹿駅→但農高校 (自転車) (山陰線) (自転車) バス便があるといいのですが、あっても電車の接続が悪く使えません。</p>	<p>現状の地域公共交通体系は、生活利用である買い物や通院を目的として設定しております。市外への移動については、広域的な視点を持ち、今後検討が必要な事項であると考えます。</p>

	<p>(2) 和田山駅に友人を車で迎えに行っても駐車スペースが狭く困っています。(タクシーが場所をとっている。)</p>	<p>地域公共交通は、自家用車の乗り入れは検討しておりませんが、乗り換え拠点であるJR和田山駅のあり方については、JR西日本および市の関連部署と連携し、誰もが利用しやすい環境づくりを検討していきたいと考えます。</p>
	<p>(3) 土・日・祝日は、秋葉台にバスが来ません。高齢者イベントが土日にジュピターホールなどであっても行けません。</p>	<p>上記4(1)と同じ考え方です。</p>
14	<p>(1) 私は1年間のアコカを買いましたが、殆ど使っていません。出かけても帰りの便が自分の都合と合わないからです。 今は健康で病院に通う事ありませんが、もし具合が悪くなったら行きは行けても、帰りが困ると思います。 なので、病院の帰りはタクシー代一律1,000円で帰れる制度ができると助かります。</p>	<p>上記12(2)と同じ考え方です。</p>
15	<p>(1) 和田山町は良い所です。でも一番困っているのが、乗り物路線バス。朝出たらお昼出ないと帰って来れない。行きたい病院にも行けない。前はイオンから歩いて行っていたんですが、今は一寸歩けないので、病院の近くに停留所があれば助かります。和田山営業所～朝来医療センターまで停留所がありません。Aコープのところに停留所があれば助かります。絶対して頂きたいと思います。お願い致します。</p>	<p>上記4(2)と同じ考え方です。</p>
	<p>(2) カートの方どうになりましたか?とても助かっていました。</p>	<p>グリーンスローモビリティについては、国土交通省の実証調査により実施いたしました。活用いただきありがとうございました。 地域公共交通網形成計画には、多様な交通手段の導入について検討を進める旨を明記したところです。朝来市の実情に合う交通手段について、グリーンスローモビリティも含めて検討していきたいと考えます。</p>
16	<p>(1) バス病院行きに1ヶ月3～4回利用しています。以前は帰りにタクシーを使う事が多かったですが、時間帯が変わってからは、バスで帰れて助かっております。 出来ればイオン～竹ノ内行き、11:36～16:21の間に1回有れば有難いです。</p>	<p>上記3(1)と同じ考え方です。</p>